

SCOUT CHIBA

第88号
スカウトちば

「スカウトちば」は、日本ボーイスカウト千葉県連盟の広報誌です。

2018年1月1日発行

特集 ボーイスカウトを知ってください

年頭のごあいさつ

日本ボーイスカウト千葉県連盟

理事長 伊藤知

明けましておめでとうございます。

昨年は楽しみにしていたカブラリーが、台風のために中止となりました。代わりに皆様の地区や団での活動にして頂きましたが、如何でしたか。この処どこの隊もスカウトの仲間たちが、減少しており楽しいプログラムが出来ないと言う話を聞きます。

県連盟では地区や団とともに、スカウトの仲間たちが増えるように、一生懸命頑張り「より良いスカウト活動」が出来るように努力していきます。

今年は第17回日本スカウトジャンボリーが、開催され千葉県連盟から700人程のスカウトと指導者が参加を予定しています。一人でも多くのスカウトが参加し、大いに楽しんで貰いたいと思います。



班長への手紙

班長の君へ

今年の夏、石川県珠洲市で第17回日本スカウトジャンボリーが開催されます。少しずつ、その準備は始まっていますか？
前回までのジャンボリーは、選抜されたスカウトのみの参加でしたが、今回のジャンボリーからは、ボーイスカウト隊に所属する全てのスカウトが参加できるようになりました。これは「班長の腕の見せ所」です。班員を安全にそして楽しくジャンボリーのプログラムに乗せてあげてください。
そしてもう一つのお願ひがあります。それは今、カブスカウト隊にいるくまスカウトが4月にボーイスカウト隊に入隊してきます。そのくまスカウトもジャンボリーに参加できるということです。ということは、入隊して4ヵ月余りで6泊7日の長期キャンプを体験するということです。想像してみてください…大変でしょう？
どうか、そのくまスカウト達に長期キャンプが楽しめるように、楽しいキャンプができるのかを、事前の班キャンプや隊キャンプで教えてあげてください。どうしたら期待しています!!

メモ
2018年夏
17NSJに参加するスカウト達へ

県連盟コミッショナー
宇治 隆雄

ボーイスカウト運動では、子供達(スカウト)を小グループの中で活動支援をしています。年代特性に合わせて5部門がありますが、ボーイスカウト隊(小学校6年~中学校3年)では、8人で班というグループを作り、そこに班長と次長がいて、班員たちを指導します。これもこの運動の教育システムの特徴です。

第20回千葉県カブラリーに連なる活動…その後のカブラリー

2017年10月22日(日)千葉県佐原市で、第20回千葉県カブラリーが開催される予定でしたが、残念ながら、台風の接近に伴う天候の悪化があり、安全確保を優先し、中止としました。1年以上の事前準備をして備えましたが、自然には勝てませんでした。しかしながら、折角のカブラリーですから県内11地区で独自に開催してもらうこととなり、この紙面では地区でどのように開催されたかをご紹介します。一部の地区の紹介ですが、楽しさが伝われば幸いです。

第20回千葉県カブラリー実行委員会委員長 野中 浩章

上総地区



11月5日、秋晴れの茂原公園で、上総地区カブスカウト隊合同隊集会が開かれました。8隊15組のスカウトが、計測やロープ結び、江戸の判じ絵クイズなどのゲームで競い合いました。力を合わせて『時穴の輪』を作り、最後に全員で完成させた呪文を大声で唱え、最後に全員で完成させた呪文を大声で唱え、佐原から茂原に迷い込んでしまった江戸の人が無事に帰ることが出来ました。



市川・浦安地区



第20回千葉県カブラリーは残念ながら、台風の接近に伴う天候悪化により中止になりましたが、浦安市では、11月26日に浦安市のボーイスカウト活動が始まってから40周年記念イベントがあり、浦安市内のボーイスカウトが集まりました。カブスカウトそしてガールスカウトも参加した集会の中で、カブスカウト隊は中止になったカブラリーでできなかったロープワークや計測を行い、各組無事クリアすることができました。



ラリーとは「集まり・大会」のこと。ボーイスカウトでは、カブスカウトの大会（宿泊をとまわず、1日でおわる大会）に使います。昨年開催予定だったカブラリーは3年に一度、県内で開催されます。

活動は、スカウトにプログラムを楽しんでもらうために、ストーリーを設定することが多いです。昨年のカブラリーのテーマは「E・D・O!」～いいものどこかで おもてなし～でした。現在にタイムスリップした江戸時代の人間を、無事に送り返すという設定でした。その展開の過程でスカウトは、佐原市の文化や風土を肌で感じて「体験して学ぶ」を実践する予定でした。

カブラリーは中止になりましたが、各地区各隊で、カブラリーのプログラムを独自に展開しました。



カブスカウト

ボーイスカウト

ビーバースカウト

ビーバースカウトも元気に遊んでいます!!

ビーバースカウト隊とカブスカウト隊の活動の一部をご紹介します。ビーバースカウト隊は小学校2年～3年、カブスカウト隊は小学校3年～5年が活動期間です。屋外での活動が中心です。そこで自然の素晴らしさを体験し、自然と向き合うことで、優しさを学ぶことができる活動をしています。文中にあるローバースカウトとは、19歳～25歳のスカウトのことで、ローバースカウト隊に所属します。

千葉地区…地区ビーバーラリー

千葉8団は10人参加しました。赤、青、黄、白の4色に分かれて色ごとのチームでゲームを競います。

新聞紙を丸めたバクダンを相手の陣地に投げ合うゲーム。ペットボトルリレーでは、4人で息を合わせるのに苦戦しました。聖火リレーは、抜きつ、抜かれつ、盛り上がりました。夢中になって、がんばって、とても楽しく活動できました。



東葛地区…地区ビーバーラリー

第4回みんなで遊ぼう「子どもランド」―秋のちびっこ探検隊は、11月19日(日)手賀沼を渡る風が冷たく真冬のような寒さの中で開催されました。集まったビーバースカウトとそのお友達は元気いっぱい。

一昨年から、地区ビーバーラリーは「子どもランド」として年2回開催し、一般参加の呼びかけに力を入れ、今回は92人の子どもの参加があり、大盛況でした。

手賀沼の河童伝説にちなんで、子どもたちがカッパになって「カッパの救助隊」「カッパのひろごはん」「カッパのつなわたり」「カッパにお水を」のコーナーで冒険、探検にチャレンジしました。「カッパの救助隊」は企画から実施までローバースカウトがすべてを担当し、その成果も顕著で、今後大いに期待するものです。



南総地区…地区ビーバーラリー



南総地区では、「忍者の修行」をテーマに11月5日に富津市民ふれあい公園でビーバーラリーを開催しました。地区内の6団から約30人のスカウトが混合チームで参加し、各ブースを回りました。初めて出会った仲間たちで手裏剣作りや水渡し、忍び寄りの術、吹き矢などの修行を一緒に体験したことで最後にはみんな“なかよし”になれたよ。



救急法講習会技能章コース開催報告

昨年12月10日(日)スカウトを対象とした救急法講習会が開催されました。この講習会はスカウト技能としての「救急法」を理解し、「行うことによって学ぶ」を通して、人命救助ができるようにする技能講習です。

勿論、座学で理論を学び、其の後実際に体験をする方法で展開されます。止血法と包帯法・保温と搬送法・心肺蘇生とAED・骨折の手当を実際に学びます。講師の方は実際に医療現場で働かれている看護師の方々が中心です。最新の人命救助に関することが学べました。

この講習会は、年に4回開催されており、毎回大勢のスカウトが参加しています。今回も真剣に学び、「その時のため」に備えることができたと思います。



隊長のための研修

ウッドバッジ研修所スカウトコース千葉第3期

2017年10月6日～9日の3泊4日の日程で、隊長の基礎研修であるウッドバッジ研修所スカウトコースが開催されました。昨年の春、正式に導入された研修コースで、隊長になるための基礎知識を学びます。

所長は経験豊かな山下すみ江トレーナー(LT)で、参加者は所長指導の下、キャンプ生活を通してボーイスカウトのキャンプ・ハイキング・キャンプファイアーを体験しました。安全に対する講座もあり、隊長としてスカウトに対して何をどう考えてどう対応するかを学ぶことができたと思います。

そして11月19日(日)には、スカウトコース修了者を対象とした課程別研修が開催されました。これは隊長の所属する当該隊のプログラム立案を学ぶ研修で、これを終わると隊長としての基礎研修は終了です。

参加者の今後の活躍に期待しています。



2017年11月19日開催のウッドバッジ研修所スカウトコース修了者研修会。2017年10月6日～9日、千葉県上野原町で開催。

ボーイスカウト運動では、指導者の研修体系が整備されています。スカウトが安全で「ワクワク・ドキドキ」する活動ができるように、研鑽を積んでいます。隊長になるには、ボーイスカウト講習会を受け、次にウッドバッジ研修所を最低限の研修とし、経験を積んでからは上級研修コースとしてウッドバッジ実修所で更に研鑽を積んでいます。

疑問や質問は、県連盟ホームページにてご確認ください。
メールでお送りいただければ、回答させていただきます。
県連盟ホームページ <http://www.scout-chiba.jp/>



素朴な質問大歓迎！！

発行者】

日本ボーイスカウト千葉県連盟
千葉県千葉市稲毛区天台6-5-2
青少年女性会館内 043-287-1755
PR・広報委員会 編集責任 越森誠

お問い合わせは